

【第2編 金融 6-45】各保険の考察とよくある質問

(1) 保険の考察

① 医療保険

・医療保険が出してくれる最大保険金はたかが知れている。

(入院日額〇〇円×60日～120日とか)

一家族全体の資産で対処できないか検討。

資産対処が厳しい期間のみ保障額を選定し掛ける。

・買うにしても「〇〇歳払込終身」という掛け方はNG。

→①～⑦が変化する可能性があるし、

「世界や医療など」が変化する可能性を見てほしい。

変に医療保障の「先払い」はしないこと。

・あくまで「資産がない間」だけの保障でいいので

変に貯蓄型にしない。

→「〇〇歳になったら掛けていた保険料が返ってくる」は、

掛け金が上がるので運用に回せるお金が減る。

掛け捨てにして差額分をきちんと運用しましょう。

② 死亡保険(貯蓄型を含む)

・守らなければならない期間をきちんと確認して掛けよう。

今日の時点から「終身」で死亡保険が必要な人はほとんどいません。

必ず期間は絞りましょう。

期間を過ぎた後は死亡保障ではなく「財産」を残しましょう。

・どうせ①～⑦の変化に合わせて必要額が変更するので、

「掛け捨て」で買しましょう。

→貯蓄型で死亡保険を買わない。

・あくまで「資産がない間」だけの保障でいいので変に貯蓄型にしない。

→「〇〇歳払込終身」は掛け金が上がるので運用に回せるお金が減る。

掛け捨てにして差額分をきちんと運用しましょう。

③学資保険

・利率が低すぎて、運用先として掛ける必要はありません。

→結局、運用商品です。払っている最中に亡くなったらを考慮するなら掛捨ての死亡保険を買ってください。

・「学資保険は利率悪いから外貨建て終身保険でお金貯めましょう」は、止めましょう。

→「保険の世界でしか運用を知らない方」が吐く台詞です。

子供や自分への資産構築はジュニアNISA、NISA(つみたてNISA)などから始めましょう。間違っても終身保険などで必要のない死亡保険期間をかけたりするのは、避けましょう。

(2)よくある質問

①どの保険会社の商品がいいの？

=「どの服買ったらいいの？」と同じこと言っています。

皆さんは「自分で好きなの(合っているの)選びなよ。」って言いませんか？

—皆さんは相手の趣味嗜好を知らないから決められない。

質問した相手が①～⑦までを把握している人なら問いかけてもいいです。

そうでないなら「①～⑦を知っているあなた」が決めるしかありません。

②保険屋さんやFPに①～⑦を伝えたけど、

提案された内容が腑に落ちない…

どうして？

→非常に簡単な話です。

私たちのこの世界も「レベル(熟練度)」があるからです。

③レベル 100 を探していくには？

人を見る目、見抜く力が必要です。

→「選球眼」

「選球眼」を磨くには？ ×肩書(肩書は無視)

→たくさんの意見を聞いて、比較しての

「練度上げ」が必要です。

ここは「弱肉強食」の世界。

レベルの高い人間を探し、変化させていきましょう。

変にレベルの低い人に同情しない。

(3)最後に

①ここまで話した内容は、

決して「保険商品選び」だけに使える話ではございません。

投資商品を選ぶにしても、不動産を買うにしても「同じ」ことです。

②この基本を怠るようであれば、「それ相応の報い」がやってくることを
忘れないようにしましょう。